

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号) 企業・団体名 (赤田工業株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得認証があれば、併せて記載) 【【非該当】を選択した場合こちらには理由記載】	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・ネパール、中国、インドネシア、米国、日本と社内も国際色豊かであるが、雇用、昇進、登用等で国籍・性別による差別が無いように研修を通じて啓蒙活動しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・ハラスメント防止の就業規則に明記しています。 ・年に1回、ハラスメント防止研修会を実施しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・「過重労働者に対する面接指導」の社内ルール化とお困りごと何でも相談窓口を開設して、労働環境の改善を進めています。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・外国人労働者は、エンジョニア、特定技能実習生、技能実習生が在籍しています。理念活動とSS活動を通じて意見交換するなどして、職場環境改善に努めています。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・社内の労働安全衛生については、労働安全衛生委員会を中心に、連続無災害の継続や熱中症対策など労働環境改善に努めています。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・ハラスメント防止の就業規則に明記しています。 ・年に1回、ハラスメント防止研修会を実施しています。 ・「何でも相談窓口」を開設して、相談窓口を通じてハラスメント防止を図ります。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・社内の多様な人材(女性19%、外国人23%、60歳以上17%、障害者2%)を採用して、活躍出来るように積極的に支援をしています。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・資格試験取得に力を入れています。(2024年度実績 技能検定88人、溶接試験18人、ビジネスキャリア検定18人、その他10人合計131人取得)社員一人一人が主体的に取り組めるように会社で検定料と技能手当を補助しています。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解して、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制整備し対応をしています。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・健康経営優良法人2025(経済産業省)更新済みです。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			①金属、木材、紙などに分別してマニフェスト産廃処理 ②廃油などもマニフェスト産廃処理 ③プラ、蛍光灯、電池なども産廃処理 ④使い捨てを極力少くする											11.6	12.4		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			①エコアクション21 認証 #0011998 済							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			①エコアクション21 認証 #0011998 済 ②事務所:蛍光灯 現場:水銀灯 を全部LED化実施済 ③天井にソーラーライトシステムを取付実施済 ④クールビズ・ウォームビズ(20C)を設定し実施している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			①有害化学物質は、利用していない ②キュービクルPCBIは、保管している ③機械のフロンガスは、業者引取している ④製品は、RoHS対応している			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			①除草剤、殺虫剤の利用を抑える ②防草シートと木材チップで雑草防止している ③毎年、記念植樹と芝生面積を増加している						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			①金属は、鉄・アルミ・ステンレスなど分別しリサイクルしている。紙・ダンボールは、障害者施設へ譲渡しリサイクルしている。ペットボトル、缶は業者に引き取り ②ペットボトルキャップは、自宅分も集め海外ワクチン事業へ提供している ③自宅の古い毛布は、荷造りにリユースしている ④会社懇親会では、紙コップ、割り箸を使用禁止している ⑤花壇の水くれは、河川の水を利用している										12.5		14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			①水道光熱費の金額状況を毎月全社員に発表している ②節水ポスターを自作し張り出している。 ③地元工業高校生と水力発電システムを考えて発電利用している(水利権は学校が取得)						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			①エコアクション21 認証 #0011998 済			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・エコアクション21中央事務局「持続性推進機構」に情報を開示しております。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			①屋根上に太陽光パネルを設置して、売電している ②地元工業高校生と水力発電システムを考えて発電利用している。夜間のLEDネオン点灯 ③駐車場照明に、ガーデニングスポットライトを利用し てる							7.2						13				
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	認証製品の利用に心がける												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			①就業規則 服務心得 第34条12に明記し周知して いる																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			①営業方針において、適正な価格設定を行うことを明 記し 周知している																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			①就業規則 服務心得 第34条9に明記し周知して いる ②客先と秘密保持契約を書面で交わし保管して いる								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			①社員の個人情報は、限定された社員が書面を、施 錠できる書棚にて管理している。電子データも限定され た社員が、パスワードにて管理している																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			①顧客の要望により、調査し書面にて提出している ②材料の仕入先から、情報提供してもらい把握してい る																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			①新規取引先、仕入先には、ISO9001の定めにより、 評価シートを記入して判断をしている ②継続時は、必要に応じて訪問し、相互理解をしてい る					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定			3					8	9	10							17

[illegible]

40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)		①ISOのマネジメントレビューにおいて、リスク対応している ②BCPを策定し、緊急連絡網を作成・配布・更新している															16	
41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		①行政、教育、各種団体の呼びかけには、積極的に経営者が参画して説明責任と結果責任を取るようになっている ②社内では、投票への義務、地域活動への参加、学校行事への参加を呼びかけている															16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)		①事業継続計画(BCP)を策定した ②緊急用飲料水の備蓄、自販機の無料利用を設置した ③AEDを設置した ④休日出勤時の事故に対して、当番病院を貼りだしている								9		11			13 13.1		16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)										8	9							1

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定